

雨竜町立雨竜小学校学校教育活動紹介

校長 野村 智久

○学校紹介

昭和45年雨竜町内5つの小学校が統合され、雨竜小学校が誕生し、今年開校50周年を迎えました。また、平成26年には、管内唯一の施設一体型小中併設校として開校しました。併設校の強みを生かし、義務教育9年間の子どもたちに優れた学力・体力・社会性を育むことを目指した小中一貫教育に対する保護者・地域の期待は大きく、それに応えるべく教職員一丸となって、教育活動を進めています。

雨竜小の合い言葉は、「4つのしっかり あっそうか」

あいさつ・そうじ・うたごえ・かていがくしゅうがしっかりできる雨竜っ子を目指しています。



○行事や特色ある活動の様子

～小中連携・地域とともにある学校づくりを目指した教育活動～

施設一体型の長所を生かし、小中合同の行事を多く行っています。入学式、クリーン作戦、あいさつ運動、小中合同レク等。また、児童生徒だけでなく、教職員も職員会議を一緒に行ったり、同じテーマで研修を進め、小学校のきめ細やかな指導や中学校の専門性を生かした指導を組み合わせることで子どもたちの成長を目指しています。

また、地域の方々の協力を得ながら、特色ある教育活動を行っています。学校支援サポーターの協力のもと、「田んぼdeアート」事業、学校園でのメロン栽培、桜の植樹など数多くの体験活動をさせてもらっています。

